

家庭学習の手引き

～すくすく木津川台っ子～

3年生編

以前より、自分でやろうという気持ちが出てきて、遊びや行動範囲も含めて世界が広がる時期です。一方、急に勉強が難しくなったと教科によっては苦手意識を持ってしまう時期でもあります。自信を持たせ、意欲を高めるような言葉かけや手助け、時には努力を認める励ましが大切です。

社会科、理科、総合的な学習の時間など新たな学習も増え、国語辞典などを使った調べ学習も徐々に増えてきます。興味や関心のある内容から選んで調べ学習をさせると、学習に集中できる時間も確保できるようになります。もちろん、宿題はきちんと最後までやり切る、ていねいに見直しをする、遊びと勉強のけじめをつけ、時間を守って行動するなど自律の気持ちも育てていきましょう。

自ら学習に向かう習慣を身に付けさせる関わり方のポイント

(1) 学習に集中させる環境作りをしましょう。

- ・学習する時間や場所を決めましょう。
- ・テレビやゲームの約束なども合わせて、話し合って決めましょう。

(2) 学習に必要な用具をきちんとそろえましょう。

- ・教科書、ノート、辞典やコンパス、三角定規など必要な物をそろえられるよう準備をさせましょう。
- ・次の日の学習準備も自分でできるように声かけをお願いします。

(3) 自分でできることはできるだけ自分でさせましょう。

- ・少しずつ手をかける回数を減らし、自分でできることが増えるよう関わっていきましょう。
- ・アドバイスをしたり励ましたりするなど、苦手なことにもやる気を持って取り組めるように配慮しましょう。

(4) 子どもとの会話の時間を確保しましょう。

- ・勉強を教えたり、共通の話題を見つけて話をしたりするなど積極的に会話の時間を作りましょう。

よりよい家庭学習のために

国語

〈音読〉

- ・文章を正確に読みましょう。(文末までていねいに)
- ・速さや間の取り方を工夫して読みましょう。
- ・物語文では登場人物の気持ちを考えて話し言葉を読みましょう。
- ・説明文ではまとまりに気をつけて音読しましょう。

〈漢字〉

- ・正しい書き順で、正確に文字を書きましょう。
- ・とめ、はね、はらいに気をつけて、ていねいにくり返し練習しましょう。

〈言葉〉

- ・わからない言葉はすぐに国語辞典で調べましょう。
- ・ローマ字を読んだり、書いたりしましょう。

〈作文・日記〉

- ・主語や述語に気を付けながら、気持ちを表す言葉を使って作文を書きましょう。

〈読書〉

- ・昔話や物語、伝記など、いろいろな本を読みましょう。
- ★親子で本を開き、よい読書環境をつくることも大切です。

算数

- ・かけ算やわり算など正しい計算手順が身に付くよう、くり返し落ち着いて練習しましょう。
- ・三角定規やコンパスなどが正しく使えるように練習しましょう。

その他

- ・正しい指づかいでリコーダーを練習しましょう。
- ・運動の苦手なわざにも、目標をもって練習しましょう。
- ・理科や社会の教科書を読んで、復習や予習をしましょう。

